

みずほCustomer Desk Report 2017/07/31 号(As of 2017/07/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.10	1.1690	129.86	0.9638	1.3079	0.7975
SYD-NY High	111.33	1.1764	130.38	0.9726	1.3152	0.8008
SYD-NY Low	110.55	1.1672	129.57	0.9634	1.3065	0.7936
NY 5:00 PM	110.72	1.1746	130.08	0.9688	1.3135	0.7985
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			8.275/8.675	Δ25RR	1.030	Yen Call Over
NY DOW	21,830.31	33.76	債券市場	日本2年債	-0.1140	▲0.3bp
NASDAQ	6,374.68	▲ 7.51		日本10年債	0.0760	0.3bp
S&P	2,472.10	▲ 3.32		米国2年債	1.3472	▲1.6bp
日経平均	19,959.84	▲ 119.80		米国5年債	1.8339	▲1.8bp
TOPIX	1,621.22	▲ 5.62		米国10年債	2.2889	▲2.1bp
シカゴ日経先物	19,970.00	▲75.00		独10年債	0.5420	0.6bp
ロンドンFT	7,368.37	▲74.64		英10年債	1.2180	1.5bp
DAX	12,162.70	▲49.34	為替市況	豪10年債	2.6840	▲0.5bp
ハンセン指数	26,979.39	▲ 151.78		USD/CNH	6.7370	▲0.0070
上海総合	3,253.24	3.46		ドルインデックス	93.26	▲0.61
USDJPY 3M Vol	8.78	0.10%	商品市況	CRB指数	182.120	0.98
USDJPY 6M Vol	9.10	0.15%		NY金	1,275.30	8.80
EURJPY 3M Vol	9.47	0.06%		WTI	49.71	0.67
EURJPY 6M Vol	9.73	0.12%		Dubai Spot	50.16	0.83

東京	ドル円はオアニア時間に高値111.33をつけたものの、米金利が小幅に低下する中、更なる上値追いとはならず111円台前半で推移。東京時間オープン前に発表された本邦6月CPIはほぼ予想通りの結果。また、発表された日銀金融政策決定会合の主な意見では「物価の見通しは下振れているが、現時点では2%に向けたモメンタムがしっかりと維持されていることから、追加的な緩和策は不要であり、現在の政策を維持すべきである。」等の意見があったと伝わった。但し、いずれも相場への影響は限定的でドル円は111.10レベルにて東京時間オープン。安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大させる中、ドル円は111.00を下回り110円台後半まで下落。その後、福田防衛相が辞意を表明したことが伝わったものの、すぐさま相場を動意づけることには至らず、111.00を中心としたレンジ推移が継続した。結局ドル円は引けにかけて東京時間安値110.87をつけた後、111.03レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は小動きとなった。111.03レベルでオープン。米上院が28日未明の本会議で医療保険制度改革法(オバマケア)の一部を廃止する法案を採決し49:51で否決した。トランプ政権の政策実行力を懸念する声も出ていたものの、午後に発表される米4-6月期GDPの結果に期待が高まる中、ドルは底堅く推移して111.29まで上昇。結局、ドル円は111.24レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは上値が抑えられた。1.3089レベルでオープン。前日に英財務省が一部ではハ派と見られているラムステン氏を9月4日付で英中央銀行の副総裁に就任すると公表したことや、発表された英7月消費者信頼感指数が▲12(予想▲11、前回▲10)と1年ぶりの低水準となったことなどが相場の重石となった。ポンドドルは1.31を上抜けることなく1.30台後半で推移した後、1.3088レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン・ロリー - 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	ドル円は、111.24レベルでNYオープン。朝方発表された米4-6月期GDP(1次速報)、雇用コスト指数のいずれも予想を下回ると、米金利低下と共にドル円は110.84まで下落。更に「北朝鮮が発射した弾道ミサイルが日本の排他的経済水域(EEZ)に落下」との報道を受けるとドル円は一段安くなり110.68まで下落。但し、寄り付き軟調であったラゲがアラ圏に浮上したこともあり、一旦110.89まで反発し、110.80付近での小動きに終始する場面が続いた。しかし、冴えない米指標や地政学リスクの高まりに、リスクセンチメントが悪化する中、直近安値110.63を下抜けると6月15日以来となる110.55まで下落。週末を控え一段と下落する展開とはならなかったが、その後も上値は重く(110.72レベルでクローズした。なお、ラゲは史上最高値を3日連続で更新した。一方ユーロドルは1.1719レベルでNYオープン後、海外市場の流れを受け堅調に推移する中、米金利低下を背景とするドル売りも相俟って、ユーロドルは高値1.1764まで上昇。しかし前日高値である1.1777が意識されたこともあり、積極的に上値を追う展開とはならなかった。その後は1.1740-1.1760でのレンジ内での推移が続き、1.1746レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 大熊・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月28日	08:30	日 失業率/有効求人倍率	6月 2.8%/1.51	3.0%/1.50
	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	6月 0.4%/0.4%/0.0%	0.4%/0.4%/-0.1%
	08:50	日 日銀金融政策決定会合(7/19-20)における主な意見	-	-
	18:00	欧 消費者信頼感・確報	7月 -1.7	-1.7
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	7月 0.4%/1.7%	0.2%/1.5%
	21:30	米 GDP(前期比年率)・1次速報	2Q 2.6%	2.7%
	21:30	米 雇用コスト指数	2Q 0.5%	0.6%
	21:30	米 個人消費・1次速報	2Q 2.8%	2.8%
	21:30	米 コアPCE(前期比)・1次速報	2Q 0.9%	0.7%
	23:00	米 ミシガン大学消費者信頼感・確報	7月 93.4	93.2
7月29日	02:20	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

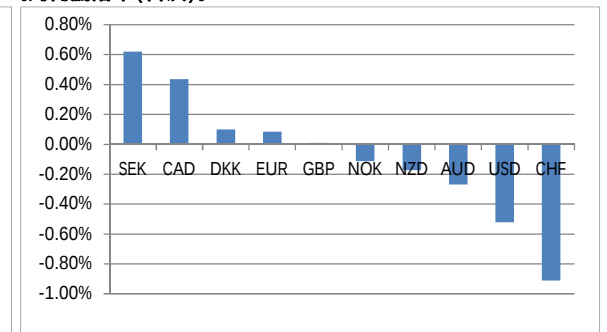
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月31日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	6月 1.5%/4.8%	-3.6%/6.5%
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	7月 51.5/-	51.7/54.9
	18:00	欧 失業率	6月 9.2%	9.3%
	18:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	7月 1.3%/1.1%	1.3%/1.1%
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	7月 60.0	65.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.10-110.90	1.1690-1.1800	129.50-130.60

【マーケットインプレッション】

先週末の海外市場でのドル/円相場は、軟調な展開となった。発表された米4-6月期GDP速報値は、前期比年率+2.6%と高い伸びを示したが、上ぶれ期待が高かったことと市場予想の+2.7%を小幅ながら下回ったことが嫌気され、ドル売りが強まった。北朝鮮が弾道ミサイルを発射したとの報道も相俟って、110.55円まで下落する値動きとなった。本日は、上値の重い値動きを予想する。米4-6月期GDPで、雇用コスト指数が+0.5%と市場予想を下回り、1-3月期の+0.8%から鈍化している。インフレ期待は一段と低下しており、米利上げペースの減速懸念が強まっている。北朝鮮関連の地政学リスクも重石となっており、また、今週は1日の米7月ISM製造業景況指数や、4日の雇用統計を控えている状況下、動きづらく、上値の重い展開が続くと思われる。